



流山キャンパス

の半世紀



本郷キャンパス 100 年・流山キャンパス 50 年の記録 1

2018 年

5 月 28 日(月) ▶ 11 月 2 日(金)

月～金(平日) 9:30～16:30

観覧・解説書(本文 52 頁) 無料

*大学の夏季休業日及び前後の資料整理日休館(確定後ウェブサイトで周知します)

東洋学園史料室

常設展 通年公開

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-26-3

東洋学園大学 本郷キャンパス 4号館 6階

TEL. 03-3811-1783 (広報室) / 03-3811-2840 (史料室) / URL <http://www.tyg-archives.jp/>



2017（平成 29）年 9 月 7 日、東洋学園大学流山キャンパス（千葉県流山市^{ひれがさき}鱸ヶ崎）は開設 50 周年を迎えました。
1967（昭和 42）年の同月同日に東洋女子短期大学流山校舎として竣工式を挙げて以来、同キャンパスは時代の流れに沿って利用形態をさまざまに変え、施設設備を拡充しながら半世紀の時を刻みました。

この 50 年は流山市の市制 50 年と重なり、同市と本学の成長は軌を一にします。この間にキャンパスと周辺地域は水田耕作を主とする農村から文教地区へと変貌を遂げました。

東洋学園は東京都文京区を発祥の地としますが、流山キャンパスが存在する時間は前身校（1917～1926）を含めた 100 年の歴史の後半 50 年を占めます。旧制末期には津田沼校舎が存在し（1946～1950）、現在の東洋学園大学も 1992（平成 4）年の開学から 2006（同 18）年まで千葉県を所在地としていました。本学は千葉県に縁の深い学校です。

近年はあらゆる分野で都心一極集中に拍車がかかっています。都心に発祥地を持つ大学の多くが高度経済成長期に設けた郊外キャンパスから撤退し、都心に回帰しつつあります。本学は本郷キャンパス（文京区）への教育資源集中「一体型都心キャンパス」策を推進し、このほど（2018 年 3 月）全学部の本郷移転を完了しました。

転機を迎えた流山キャンパス半世紀の歩みを、施設設備の変遷で辿ります。

* 2018（平成 30）年度の流山キャンパスはスポーツ関係の授業・実技、課外活動、行事に利用されます。



上. 流山校舎テニスコート開きに臨む^{まわりみよ}馬渡房学長（当時）。

左. 現在。位置は変わらないが夜間照明が整備され、周囲の施設は全て建て替えられている。



東洋女子短期大学

キャンパス正門にあった旧短大門標
（期間中展示 横 1.3m）。



アクセス

東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線
都営地下鉄三田線
JR 中央（総武緩行）線
都バス 都 02（大塚駅前⇄錦糸町駅前）
同 上 69（小滝橋車庫⇄上野公園）

本郷三丁目駅から徒歩 5 分
水道橋駅から徒歩 5 分
水道橋駅から徒歩 7 分
真砂坂上から徒歩 3 分
同